

はじめに

XMTRADING



XMTradingは
日本の金融庁に
登録していない
海外のFXブローカー

XMTRADING

XMTradingは日本の金融庁に登録していない海外のFXブローカーだ。



運営会社と
ライセンス情報

Tradexfin Limited
(セーシェル共和国)



運営会社はセーシェル共和国の
Tradexfin Limited (FSAライセンス SD010) で、
日本人ユーザーの約9割がこの法人で口座を持っている。



XMを使うこと自体は
現時点で違法ではない



XMを使うこと自体は現時点で違法ではない。



日本側の法改正により、
今まで使えていた
銀行送金ルートが
2026年12月以降に
使えなくなる可能性が高い。

XM自体が消えるわけではなく、
日本とXMをつなぐ送金インフラが崩れるというのが正確な話だ。



XM自体は存続し、
取引やサービスは
継続する見込み。

1 実は銀行から直接XMに送金していない

「XMに銀行振込している」と思っているユーザーが多いが、実際の仕組みはこうだ。



自分の銀行口座から「収納代行業者」の国内口座に振込み、その業者が海外のXMに転送する。出金も同じルートを逆向きに使用している。

この収納代行業者は違法業者だったわけではなく、2009年以來ずっと「法律の対象外」だった。それが今回の改正で変わった。

2 改正資金決済法：2026年6月1日に施行済み

2026年6月1日に改正資金決済法が施行された。これによりクロスボーダー収納代行業者は資金移動業の登録が必要になった。

経過措置のスケジュール

2026年12月1日

6か月の猶予期間が終了。
登録申請していない業者はここで終わり

2028年6月1日

申請していた業者も含めて
全員強制終了



重要なのは、XMのような金融庁に無登録の海外FX業者を相手にする収納代行業者は、登録申請しても法律上拒否される点だ。つまり申請しても通らないため、実質的に2026年12月には銀行送金ルートが消える可能性が高い。

3 銀行口座の凍結

すでに一部の銀行では対応が始まっている。

GMOあおぞらネット銀行

「無登録業者への送金や
収納代行を目的とした
口座利用はお断りします」
と公式サイトに明記

リソナ銀行

デビットカードでの
海外FX業者への送金を
2025年5月以降停止



ただし使っている銀行・取引パターン・金額・頻度によって状況が異なり、今すぐ全員が凍結されるわけではない。



使っている銀行



取引パターン



金額



頻度

状況は人それぞれ。
最新の情報を
常にチェック
しておこう!

1 出金できる方法

方法	利益の出金	備考
国内銀行送金	✔️ できる	40万円未満は 2,500円の手数料
VISA	❌ できない	入金額の返金のみ
bitwallet	❌ できない	入金額の返金のみ。 仮想通貨には非対応
仮想通貨	⚠️ 条件付きでできる	過去に仮想通貨で 入金した履歴が必要

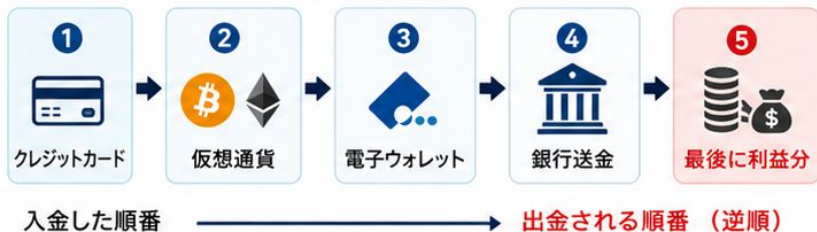
2 仮想通貨で利益を出金するための条件

過去に仮想通貨でXMに入金した履歴がないと、
仮想通貨で利益を出金することができない。
これはXMの公式ルールだ。



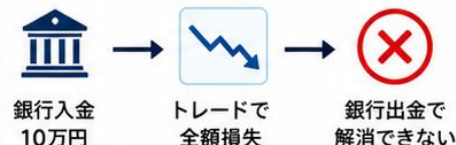
3 出金の優先順位ルール

複数の方法で入金している場合、出金は入金した順番の逆順になる。



4 「負け越し」問題

銀行で10万円入金して
トレードで全額失った状態で
規制が来た場合



- その10万円分を銀行出金で解消する手段がなくなる。
- 解消できないと仮想通貨での利益出金もできない。

⚠️ 銀行入金で負け越しがある人は、
銀行ルートが使えるうちに
今すぐ清算しておく必要がある。

⚠️ 規制が来てからでは遅い! 出金ルールと優先順位を理解し、今のうちに対策を!

仮想通貨ルート of 仕組み

なぜ国内取引所から直接XMへ送れないか

2023年6月から施行された**トラベルルール**により、国内の仮想通貨取引所は金融庁に無登録の業者（XMなど）のアドレスへ**直接送金できない**。必ず「**プライベートウォレット**」と呼ばれる**個人の財布**を中継する必要がある。



トラベルルール (Travel Rule) とは？

送金人・受取人の情報を送金時に通知する国際ルール。国内取引所は、無登録の海外業者へ直接送金できない。

仮想通貨ルート of 流れ (例: XRP の場合)



国内取引所 → プライベートウォレット → XM の順で送金するのが正しいルート

Bybitはもう使えない

以前は国内取引所からBybitを経由してXMへ送金するルートが広く使われていたが、Bybitは日本の規制強化によりサービスを制限。

以前使われていたルート (もう使えない)



現在の正しいルート (利用可能)



2025年10月31日

日本居住者の新規登録を停止



2026年3月23日

日本居住者の新規取引を停止 (既存ユーザー含む)

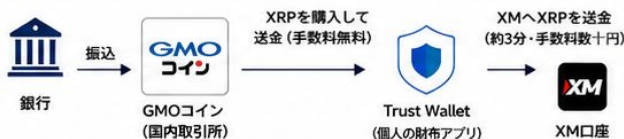
今からBybitを使うことはできない。



国内取引所からXMへ送金するには、必ず**プライベートウォレット**を中継する必要がある

ルートB (推奨) : GMOコイン + XRP + Trust Wallet

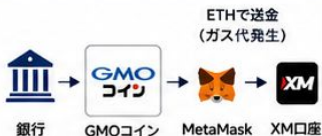
着金約3分・手数料ほぼゼロ・最もシンプル



出金は逆ルートで銀行口座へ

XRPはETHと違い価格変動が速い通貨だが、送金自体は3分程度で完了するため実害は少ない。着金の速さと手数料の安さで、現在最も多くのトレーダーに使われているルート。

ルートA : GMOコイン + ETH + MetaMask



- ETHはガス代が数円～数百円かかる(時間帯で変動)
- MetaMaskは2026年1月からUSDT TRC-20にも対応
- GMOコインへの銀行振込後7日間は送金不可
- MetaMaskへの送金は初回にアドレス登録の審査が必要(5~20分)

ルートC : SBI VC Trade + USDC + MetaMask



- USDCはドル連動のステーブルコインなので送金中に価格が変動しない
- XMの入金ページで「USDC ERC-20」を選択するとMetaMaskが自動起動して承認するだけで簡単
- SBI VC Tradeの口座開設が別途必要

ルート比較

項目	ルートB (推奨)	ルートA	ルートC
取引所	GMOコイン	GMOコイン	SBI VC Trade
ウォレット	Trust Wallet	MetaMask	MetaMask
通貨	XRP	ETH	USDC (ERC-20)
着金	約3分	数分~1時間	数分~1時間
手数料	ほぼゼロ	数円~数百円 (ガス代)	数十円~数百円
初心者向け	★★★★★	★★★★☆	★★★☆☆

★★★★★: 非常におすすめ ★★★★★☆: ややおすすめ

Trust Walletの設定 (ルートB用)

Trust WalletはXRPに対応した無料のウォレットアプリです。App StoreまたはGoogle Playで「Trust Wallet」を検索してインストール。

- アプリを起動して「新しいウォレットを作成」をタップ
- パスワードを設定
- シードフレーズ (12個の英単語) が表示される
- その12単語を紙に手書きで書き写す (2部作って別々の場所に保管)
- 確認テストに合格して完了
- ウォレット一覧から「XRP」を選択してアドレスを確認



! シードフレーズはの財布への唯一の鍵です。スクリーンショット禁止・クラウド保存禁止・他人に見せない。紛失すると財布の中身が永遠に取り出せなくなります。

入金の手順 (ルートB : GMOコイン + XRP + Trust Wallet)

事前準備

- ✓ GMOコインの口座開設を完了させる (最短当日・<https://coin.z.com/jp/>)
- ✓ 銀行からGMOコインへ日本円を振込入金しておく (振込後7日間は送金できないため先に済ませる)
- ✓ Trust Walletをインストールしてシードフレーズを紙に保管する

STEP 1

GMOコインでXRPを購入



GMOコインアプリを開き、上部の「取引所」タブを選択する。「販売所」は3~5%割高になるため必ず「取引所」で買う。XRP/JPYを選択し、成行で購入する。

STEP 2

XMで入金用アドレスを取得



XMマイページにログインして「入金」→「仮想通貨」→「XRP」を選択。入金金額を入力して確定すると「送金先アドレス」と「宛先タグ (数字)」が表示される。
※このアドレスは15分で無効になります。

STEP 3

GMOコインからTrust WalletへXRPを送金



初回のみ、GMOコインで出金先としてTrust WalletのXRPアドレスを登録する (審査5~20分)。登録後に送金を実行し、数分でTrust Walletに着金する。

STEP 4

Trust WalletからXMへXRPを送金



Trust Walletを開いてXRPを選択し「送金」をタップ。送金先アドレスとしてXMの画面に表示されたアドレスをコピーする。宛先タグもXMの画面に表示された数字をコピーする。アドレスは絶対に手入力しないこと。送金後、通常3分でXM口座に反映される。

よくある失敗と対策

- ✖ 宛先タグを忘れて XRPを送った
 ➔
✔ XMに届かない可能性がある。XMのサポートに問い合わせること。Trust WalletはXMに対して「個人ウォレット」なのでタグが必要ないか、お事前に確認しておくと安心だ。
- ✖ GMOコインの「販売所」で XRPを買った
 ➔
✔ 3~5%割高になる。必ず「取引所」タブで購入する。
- ✖ XMのアドレスが15分で期限切れになった
 ➔
✔ 表示したら15分以内に送金操作を完了させる。事前にTrust WalletのXRPアドレスをGMOコインに登録しておく素早く動ける。
- ✖ USDT ERC-20で 出金して手数料 2,000円取られた
 ➔
✔ USDT出金時は必ず「TRC-20 (Tron)」ネットワークを選ぶ。ERC-20は300ドル未満で15ドルの手数料が発生する。
- ✖ GMOコインへ入金直後に送金できなかった
 ➔
✔ 銀行振込後7日間は送金できない。入金はず **事前に済ませておく**。

今すぐやること

- 1
XMの入出金履歴を確認する
 銀行入金で負け越しがあれば今すぐ銀行出金で清算する。
- 2
XMへ仮想通貨で1回入金して「履歴」を作る
 これをやっておかないと将来の利益を仮想通貨で出金できない。
- 3
GMOコインの口座を開設する (最短当日)
- 4
銀行からGMOコインへ先に入金しておく
 7日間の待機を先に消化するため。
- 5
Trust Walletをインストールして
 シードフレーズを紙に保管する (スマホ紛失等に備える)
- 6
少額でテスト送金して動作を確認する
 実際の流れを必ずテストしておく。

費用 (10万円を入出金した場合の目安)

項目	手数料の目安
銀行 → GMOコイン 振込	無料~振込手数料
GMOコインでXRP購入 (取引所)	ほぼゼロ
GMOコイン → Trust Wallet 送金	無料
Trust Wallet → XM 送金	数十円
XM → Trust Wallet 出金	無料
Trust Wallet → GMOコイン 送金	数十円
GMOコインで円換金 (取引所)	ほぼゼロ
GMOコイン → 銀行 出金	無料
合計	数十円~100円程度

結論

XRPルートの場合
総コスト



**数十円~
100円程度**

銀行送金の場合
(40万円未満)



2,500円

圧倒的に安い!

**仮想通貨(XRP)を
利用した出金ルートの方が
コストを抑えやすい!**